

集団が苦手な子に居場所を

来月・高知市に 県大生 学びと自立支援

人との関わりや学校での集団行動に不安を感じる子どもたちの居場所をつくろうと、高知市の高知県立大学永国寺キャンパスに来月「Kochi Teens Base」が開設される。週1回、子どもたちを受け入れ、ゲームや散歩、勉強や趣味の活動を楽しんでもらう。県心の教育センターと同大学が連携して運営し、同大学社会福祉学部の学生ボランティアらがサポート役を務める。

「Kochi」の利用者は18歳以下を想定。訪れた子はまず、のんびりとスタッフらとゲームや大学周辺で散歩などをして、居心地のいい場所と感じてもらう。慣れてくると、人工知能（AI）を活用した学習や持ち込んだ宿題をしたり、趣味のイラストや音楽などを創作したりする場にしてもらう。

地域共生社会の実現を目指す同大学が、中高生の学習や自立に向けた成長を支援するため、同センターと連携して取り組むことになった。ソーシャルワーカーを目指す大学生にとっては、実習に近い経験を積むことでキャリア形成につながるメリットもあるという。

同センターの吉村雅充所長(56)は「カウンセリングとなると、子どもも保護者もハードルが高くなる。情報が多く集まる大学を将来の選択肢を見つける場所として気軽に活用してほしい」と呼びかけた。

9月6日以降、毎週金曜日の午後1時半～4時半に開設。希望者はスタッフと面接を行い、施設を見学、体験した後、利用登録してもらう。問い合わせは、心の教育センター(0888・821・9909)へ。

(小谷 暁)